

議長定例記者会見 会見録

日時：令和7年9月3日 10時30分～

場所：301委員会室

1 冒頭発言

2 質疑項目

○故三谷議員について

○故三谷議員に係る県議会としての行事について

○代表者会議について

○紀伊半島三県議会交流会議について

1 冒頭発言

（議長）改めましておはようございます。ただいまから9月の議長定例記者会見を始めさせていただきます。本日は発表事項はございませんが、三谷哲央議員が8月に逝去されて初めての定例記者会見となりますので、改めて私から思いを少し述べたいと思います。三谷議員の逝去は誠に痛恨の極みであり、心から哀悼の意を表するとともに、謹んで故人のご冥福をお祈りを申し上げます。三谷議員は、平成7年に県議会議員に当選されて以来、30年間にわたり三重県のためにご尽力されました。平成17年には第99代副議長を、平成21年には第102代議長を歴任されるとともに、議長在任中には全国都道府県議会議長会副会長も務められております。さらに平成23年からは議会改革推進会議会長として、長きにわたって議会改革を先導していただきました。全国自治体議会改革推進シンポジウムの開催など、その功績は枚挙にいとまがありません。今年3月に開催しました第9回のシンポジウムにおいても、議会改革推進会議会長として三重県議会の取り組みについてご説明をいただきました。県議会や県政の進展に多大なる貢献をされた三谷議員をしのび、その遺志を酌みながら引き続き、県政の発展に全力を尽くしてまいりたいと思っております。私からは以上でございます。

2 質疑項目

○故三谷議員について

（記者）幹事社です。三谷県議のご逝去について、関連で伺いたいんですけれども、議長は先輩議員でも、三谷さんが議長の先輩議員でもあるわけですけど、何かその親交とか、学んだこととか、何かエピソードってありますでしょうか。

（議長）三谷議員が全国のシンポジウムの折に、東京へも私も行かせていただき

まして、その当時、まだ私も新人の議員でございました。その折に、三谷議員が堂々と議会改革推進について三重県議会のことを説明いただいて、私たちも勉強させていただいたのが印象に残っております。特に、三谷議員が県議会の議員になれる前にある国会議員さんの秘書をやっておられまして、私はまだ県議会議員でも何でもなし、一般の事業をしておりました。その折に、非常に仲良くさせていただきまして、三谷さんのその時の政治にかける思いというものも、私たちまだ若い若輩者が、感銘を受けたこともございます。本当に素晴らしい先輩を亡くしてしまったなという思いでありますので、われわれも、議会改革、そしてまた二代表制の県議会においても、しっかりとこれからも努力をさせていただこうと、このように思っております。

（記者）幹事社、以上です。他社さんありますでしょうか。

○故三谷議員に係る県議会としての行事について

（記者）三谷さんの件ですけれども、県議会として議会葬またはお別れの会など、今後の行事予定されておるでしょうか。状況をお尋ねします。

（議長）今、議会事務局でもいろいろと精査していただいているんだろうと思います。この9月5日の代表者会議にははっきりとした日程等について、示されるのではないかと考えておりますので、この9月5日の代表者会議の中で確認をさせていただきたいと思います。

（記者）議長ご自身としてはどのような意向ですか。思いとしては。

（議長）追悼式の件ですか。それと、議会葬の件ですか。

（記者）両方。

（議長）私としては粛々とさせていただこうと思っておりますし、当然三谷議員は、それだけの実績と、そしてまた長きにわたる30年の議会活動というふうなことも含めて、当然追悼式、そしてまた議会葬に対しては、しっかりとした対応をさせていただこうと、このように思っております。

（事務局）ちょっと補足させていただきます。議長、9月5日の代表者会議と今、申し上げました。9月5日、臨時で代表者会議を開こうと、調整が今、整いつつありますので、午後には資料提供させていただけると思います。現在の予定には多分入ってなかったと思うんですけど、議長が申し上げましたように、こういうことを、議論、協議いただきたいということで、そこで日程が今、あったという

ことです。

（記者）午後ってのはいつの午後ですか。今日の午後ですか。

（事務局）今日の午後に、代表者会議は9月の5日にするというお知らせを、今日の午後に出す予定です。事務的な補足でございます。

（記者）仮にその、議長として、お別れの会のようなものが催されるとしたら、それは一般の方、関係者の方だけではなくて、他の方も訪問できる状況が整うのか、また関係者だけで行われるのか、ここらの形、いかが考えておられますか。

（議長）追悼式は、当然、今まで追悼式などもやっておられますので、その辺は本会議場の中で行うということでございますので、一般の方が傍聴できるのかどうかというのはまた議会事務局と相談をさせていただこうと思っております。県議会の議会葬につきましては、まだ場所等の設定もこれからということでございますので、その辺のところはまた、どのようにしていくのかということは議会事務局とまたもう一度、精査させていただきたいと思っております。

－第二県政記者クラブも含めてお願いします－

○代表者会議について

（記者）これ、だから5日の日に代表者会議、臨時でやられるということなんで、代表者会議の中でわれわれは質問できないから、終わられたら、中身についてちょっと聞きたいことも出ると思うんで、できたらぶら下がりかなんかしていただきたいんですけど。

（議長）私どもでですか。

（記者）はい、正副。形式的にやる必要はなくて、ぶら下がり結構なんで。

（議長）はい。わかりました。

（記者）中身について聞きたいというものも出ると思うんで。

（議長）そうですか。予定させていただきます。

○紀伊半島三県議会交流会議について

（記者）あとその他で1日に、奈良県で三県の議会の会合があったと思いますけ

ども、実際にはどういう形で今年は、今回は何かテーマがまとまったものがありますか。

（議長）今回は、奈良県が中心になって、議長を務めていただきまして、これは持ち回りということで、昨年が三重県でございましたので、今年は奈良県でやらせていただきました。紀伊半島の地域における獣害被害について、三重県から、私から、説明をさせていただいて意見交換を行いました。和歌山県からは、紀伊半島アンカールートの整備促進についてということでございまして、そのようなところも説明を受けたわけでございます。実際に、奈良県は開催県でございますので、その2点をまとめていただいて、最終報告をしていただいたということですので、ご理解いただきたいと思います。

（記者）これ獣害被害っていうのは、和歌山、奈良も当然出てるわけですか。

（議長）獣害被害は当然、和歌山県も奈良県も出ておりますので、その点は三県がしっかりと、ツキノワグマのこの被害に対して共同してやっていこうということでございます。

（記者）何かもっと具体的に細かい話が出たんですか。例えばその、三重県内で捕まえたやつは他県で放さなきゃ、放獣をしなきゃいけないってなってる。その時に例えば和歌山、奈良は避けようとか、その辺、お互いに和歌山、奈良で捕まえたやつを三重県に放すのはやめようとか、何かそういう細かいところまでは今回話されてない。

（議長）この獣害のツキノワグマのことは、あとそういった、放すときのツキノワグマをどういうふうに放獣するか、放すのかというようなところまでは意見は出ておりませんし、協議もさせてもらっておりません。今後、いろんな被害がたくさん出ておりますので、そういったところを含めて、三県でこれからもしっかりと努力していこうということでございます。

（記者）北海道あたりはその猟友会が、猟友会が住宅街でその銃を撃つこともできるとなってるけども、それをやると、その刑事責任を取られる場合もあるんで、できればそこはハンターの判断で、住宅街であっても、クマがいてもですね、撃たないというふうなことを申し合わせで、猟友会してるみたいなんですけど。これ各、例えば、県の猟友会で判断は違うと思いますけど、三重県議会として、今まで三重県の猟友会と、なんか団体交渉とかやってますけど、話は聞いたことあるんですか。

（議長）私はちょっと話は聞いておりません。各自治体と警察と、そしてまた三重県も含めて、今後協議をされるんだろうと考えております。

（記者）副議長、新政みえさんはいかがですか。団体交渉、この前やってみましたよね。

（副議長）猟友会さんとはやってないですね。

（記者）猟友会やってない。

（副議長）やってないです。

（記者）アンカールートはその、要は紀伊半島の、今南北はある程度海岸線含めて整理されてきてるけど、その山間部の東西ルートみたいなものをやるとかそういう話なんですか。

（議長）今回は、紀伊半島のアンカールートということでございますので、和歌山県の海岸の周囲を回る道路整備、そしてまた、国道１６８号と１６９号の整備について、三県でこれから国にもしっかりと要望していこうということでまとめをさせていただいたということでありますが、そのときも、三重県の議員と、そしてまた和歌山県の議員の方が、国道４２５号線、先ほど記者が言われましたように、東西の道路に対しての整備をしっかりとやってほしいというような意見が出てまいりました。当然、話として、和歌山県の議長が、最終的には、今後のこの協議というものは各県において、この４２５号線の整備について、三重県、和歌山県、奈良県という三県が、県議会でも、そして県の行政とともに考えて、これから協議をしていただいたらどうかと。今回はこの４２５号線の東西の道路に関しての整備は、最終的な意見としては出さなかったということでございますので、その点は今後の課題だと。

（記者）１６８と１６９については期成同盟会みたいなのは出来ているんですか。

（議長）期成同盟会というのは確認はしておりませんが、要はこの三県で今の紀伊半島のアンカールートというものを、しっかりと国に要望していこうということでありますので、期成同盟は多分、これちょっと私、不確かなことを言っただけなのであれですが、三県でアンカールートに関しては国にしっかりと要望していくというのが考え方でございますので。期成同盟ができていくかどうかは分かりません。

(記者) 過去にこの168、169で、国交省とかに三県議会とか執行部がですね、揃って要望に行ったことはあるんですか。

(議長) よろしいですか、事務局。

(事務局) 今回の議題のアンカールートの中には168、169入っておりますので、過去も、おそらく今回もですけど、代表してという形にはなるかもしれませんが、この議長会議を受けて、国関係機関に要望すると。過去もしておりますし、今回もそうなる予定です。

(記者) 要は要望書を提出するという形なんですね。

(事務局) はい。

(記者) 過去にもそれはあるわけですね。

(事務局) あります。アンカールートという中に、先ほど議長申し上げましたこのぐるりの部分と168、169が入っていますので、そこについてはそういうことです。

(記者) 425についてはまだだけど、今後三県なりで、期成同盟つくるかどうかはともかくとして、そのような要望をまとめてやっていくという方向性は出たということですか。

(議長) 方向性はまだ出ておりません。三県でまとめていこうという方向性は出ておりません。先ほどお話ししましたように、各県でしっかりと協議を行って、行政と、そしてまた議会とで調査をしていく。それを持ち寄って今度の三県の議会にも当然調査の結果を報告できる方向性を見出したというところでありますので、三県から国に対して要望するというのは、今後の課題として残っております。

(記者) 次回会議はどこでした。

(議長) 次回は和歌山県が担当していただきます。

(記者) 他は何かありませんでしょうか。ありがとうございました。

(議長) よろしいですか。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

ました。

(以 上) 10時48分 終了